

通し番号	3783
------	------

分類番号	12-7B-22-20
------	-------------

(成果情報名) 平成11年度鶏の組合せ検定試験	
[要約] 国産優良実用鶏を作出するため、系統間交雑種的能力検定を実施した。卵質では外国鶏と同等の能力であるが、生産性では外国鶏より劣り早急な改良が望まれる。	
(実施機関・部名) 畜産研究所・畜産工学部	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

わが国の国情にあった優良実用鶏を作出するため、国と各県が連携して、系統造成、系統間雑種、交雑種的能力検定を実施している。

[成果の内容・特徴]

- 1 平均卵重は(表1)、2区を除く国産鶏で64g以上で、対照区に対して有意に重かった($P<0.05$)。
- 2 飼料摂取量は(表1)、対照区の109.0gに対して2、3、4区で有意に多かった($P<0.05$)。4週毎平均の推移では全体に110~120gで推移し54週齢以降徐々に低下し、68週齢以降は国産鶏で110gを切る値で推移した(図1)。
- 3 卵重規格分布はMS~L卵のバック卵比率で対照区、2区で80%以上を占めたのに対して5区66%、6区68%でバック卵の生産割合が低かった(図2)。
- 4 試験全期間にわたって産卵率は外国鶏が優れており、特に産卵開始時の立ち上がりに大きな差が生じた(図3)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 外国鶏と生産性及び卵質の比較をしながら国産実用鶏の能力向上を行っていく。
- 2 本県に適した系統の組合せを検索していく。

[具体的データ]

表 1 産卵期の成績(20~80週齢)

鶏種 項目	1区 (デカワ TX35)	2区 (L17*Y8)	3区 (Y8*C2)	4区 (Y8*MA)	5区 (S52*Bab)	6区 (S52*MA)
50%産卵到達日齢	140.5	142.0	144.8	144.3	142.8	142.8
産卵率 (%)	85.4 ^b	82.6 ^b	76.5 ^a	81.3 ^b	79.2 ^{ab}	80.1 ^{ab}
平均卵重(g)	61.8 ^a	62.2 ^a	64.1 ^b	64.6 ^b	64.7 ^b	64.5 ^b
日産卵量(g)	52.6 ^b	51.3 ^{ab}	48.9 ^a	52.5 ^b	51.2 ^{ab}	51.5 ^{ab}
飼料摂取量(g/日)	109.0 ^a	111.5 ^b	111.5 ^b	111.7 ^b	110.1 ^{ab}	110.0 ^{ab}
飼料要求率	2.07 ^b	2.19 ^{ab}	2.30 ^a	2.14 ^b	2.16 ^b	2.14 ^b
生存率 (%)	94.6 ^a	94.0 ^{ab}	92.8 ^{ab}	86.5 ^{ab}	83.6 ^{ab}	82.4 ^b
43週齢体重(g)	1,663	2,148	2,119	2,083	1,751	1,891

異符号間に有意差あり(P<0.05)

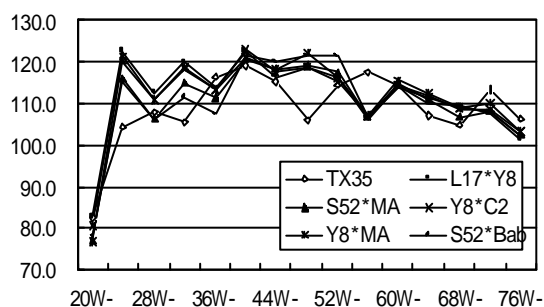


図 1 飼料摂取量の推移

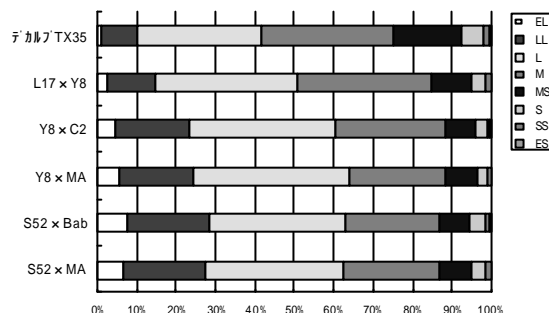


図 2 規格卵比率

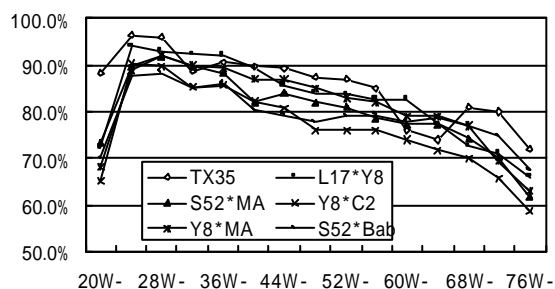


図 3 産卵率の推移

[資料名] 平成12年度試験研究成績書(繁殖工学・養鶏)

[研究課題名] 優良種鶏の組合せ検定

[研究期間] 平成11~12年度

[研究者担当名] 引地宏二・青木 稔